



Fresenius Medical Care

2005年1月24日

2005.1.24 日本におけるダイアライザー製造・販売における協力体制強化に向け、川澄化学工業株式会社と契約の更新を行いました。

透析製品・サービス提供分野における世界最大手の独ノフレゼニウス メディカル ケア社は、川澄化学工業株式会社と独ノフレゼニウス メディカル ケア社のポリスルホン膜ダイアライザーの製品・販売・更なるマーケティング活動に関し、長期的協力体制に向けた契約更新を行ったと発表した。

この契約更新により、独ノフレゼニウス メディカル ケア社と川澄化学工業株式会社は、フレゼニウス川澄が説立された1990年の長期的協力体制を強化することになる。この契約更新により、両社は十分な生産能力と国内における販売ネットワークを結集させ、ダイアライザーにおける更なるマーケットシェアの拡大を狙う。フレゼニウス ポリスルホンダイアライザーは日本市場において、2004年末時点で16%のシェアを持っている。株主比率は変わらず、独ノフレゼニウス メディカル ケア社が70%、川澄化学工業株式会社が30%となっている。

アジア地区のCEOであるロベルト・フステ氏は、次のようにコメントした。「両社が日本の腎不全市場に対し、もっとも発達し生体適合性の高いダイアライザーを供給し続けていくであろうことを喜ばしく思う。我々はともに質の高いダイアライザーを供給するリーディングカンパニーとしての立場を示していくことになるだろう。」

フレゼニウス メディカル ケア ジャパン株式会社